

平成30年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	28 河川 ー安全で快適な水辺環境を保全しますー		
重点プロジェクト				
主管課	都市政策部 道路課	評価責任者	櫻井 進一	
		評価日	令和元年5月29日	
関連課	危機管理防災課、環境課、上下水道課			
目標	市民が安心して暮らせるよう新河岸川水系における河川改修の早期完了を国、県に働きかけます。また、市民、事業者等との協働により水辺環境の維持・保全を図ります。			
施策目標の実現に向けた取組	(1) 治水対策の推進 ○新河岸川水系における河川改修の早期完了を国や県に働きかけます。 (2) 水辺環境の整備 ○河川の美化活動などを行う河川愛護団体の加盟団体数や構成員の確保に努めます。			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	河川愛護団体数					
		説明	河川愛護団体の数、河川美化活動を推進する指標					
		単位	団体					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		実績値	17	18	18	18	18	18
	指標 2	指標名	新河岸川の美化活動					
		説明	美化活動を1年間に実施した回数、水辺環境の美化を推進する指標					
		単位	回					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		実績値	3	3	3	3	3	3
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		実績値						
	指標 4	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		実績値						
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	実績値							

3. 施策への投入コスト

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	4,612	5,144				
	人件費	22,302	27,969				
収入	特定財源	0	0				
	一般財源	26,914	33,113				

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	河川愛護団体への支援等	河川愛護団体が行う河川清掃等で発生した草やゴミなどの処分、加盟団体を増やすための広報啓発のほか、総会等への参加を行う。	河川愛護団体が行った清掃活動で発生した草やゴミの処分を行った。河川愛護団体の総会、活動などを広報、ホームページに掲載し、広報啓発を行った。	河川敷地等管理団体制度推進事業
取組②	新河岸川の美化活動	河川愛護団体が主催する新河岸川清掃活動のほか、埼玉県川越県土整備事務所が主催する河川清掃活動を市民、企業、行政が協働し、新河岸川の美化、景観の保全を図る。	新河岸川清掃活動を市民、企業、行政が協働で、3月、11月に行い、新河岸川の美化、環境の保全を図り、また、6月に埼玉県川越県土整備事務所の主催の清掃活動にも参加し、河川の美化、環境の保全を行った。	河川敷地等管理団体制度推進事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	河川愛護団体が行った清掃活動で発生した草やゴミの処分を行い、また、河川愛護団体の総会、活動などを広報、ホームページに掲載し、広報啓発を行いました。
順調	新河岸川清掃活動につきましては、市民、企業、行政が協働して、3月、11月に行い、新河岸川の美化、緑地公園などの環境の保全を図り、このほかに6月に、埼玉県川越県土整備事務所が主催した清掃活動にも参加し、河川の美化、環境の保全に努めました。
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の成果	
大きな効果が得られている	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	河川等管理事務			前年度の方向性	継続
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	28 河川 ー安全で快適な水辺環境を保全しますー			
予算費目	一般会計 08土木費 03河川費 01河川総務費				
所管部課	都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏		
事務事業期間	平成21年度～	評価日	平成31年4月5日		
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市法定外公共物管理条例				
事務事業の内容	事務事業の目的	耕作に必要な排水路の補修及び旧河川敷地等の維持管理を行い、良好な水辺空間を創出する。国、県に対して、新河岸川等における改修促進を要望する。			
	事務事業の経緯	旧河川敷地及び水路敷地の草刈り管理を行うことで、安全で良好な水辺空間の形成を図り、生物の生態に配慮している。豪雨による浸水被害が多発していることから新河岸川水系改修促進期成同盟会等を通じて、国、県に対して、新河岸川等における改修促進を要望している。			
	事務事業の概要	市が管理する旧河川敷地及び水路敷地の草刈りを行うとともに、環境保護団体と協働の下、一部においては生態系に配慮した維持管理を径年的に行う。国、県に対して、新河岸川等における改修促進を要望する。			
	平成30年度の主な取組	新河岸川沿いの防犯、防災及び快適な水辺空間を維持するため、河川部分及び親水公園の草刈りを年2回実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	0.90	0.90
		人件費	5,699	7,286	7,286
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.50
		人件費	1,868	1,841	1,841
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
人件費計		7,567	9,127	9,127	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	71	68	120	
	委託料	4,126	4,201	4,635	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	31	31	42	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	13	9	11	
支出合計		11,806	13,436	13,935	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		11,806	13,436	13,935	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		104	118	121	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	旧河川敷及び水路敷地の維持管理面積		
	説明	草刈り管理等を実施する事で、安全で良好な水辺空間の形成を図る。(H30年度までの指標)		
活動	単位	㎡		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	31,350.00	31,350.00	0.00
	実績値	31,349.60	31,349.60	
指標 2	指標名	旧河川敷及び水路敷地の維持管理に関する要望件数 (H31年度からの指標)		
	説明	旧河川敷及び水路敷地の維持管理に関する要望件数を把握することで、適正な維持管理に努める。(H31年度からの指標)		
活動	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	0	5
	実績値	0	0	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	級新河岸川沿いの防災、防犯及び快適な水辺空間を維持するため、河川部分及び親水公園部分の草刈りを、年2回実施する。
	[旧新河岸川草刈り業務委託] ①業務内容 人力による除草・集積・運搬 面積1,897.0㎡×2回 ②委託金額 864,000円 ③履行場所 福岡橋の東側・旧河川 延長 145m
	[旧新河岸川(河川部分)草刈り業務委託] ①委託内容 機械による除草・集積・運搬 面積10,649.0㎡×2回 ②委託金額 1,879,200円 ③履行箇所 旧福岡高校の東側・富士見市との行政境、旧河川(右岸) 延長 1,454.0m
	[旧新河岸川(親水公園)草刈り業務委託] ①委託内容 人力及び機械による除草・集積・運搬 面積3,228.0㎡×2回 ②委託金額 1,458,000円 ③履行場所 新河岸川放水路の南側 旧新河岸川親水公園

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	旧河川敷地は、耕作を目的に有効活用しており、毎年生い茂る雑草の草刈りは必要不可欠である。また、防犯などを予防策としても効果的であるため
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	河川敷地等管理団体制度推進事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	28 河川 ー安全で快適な水辺環境を保全しますー		
予算費目	一般会計 08土木費 03河川費 01河川総務費			
所管部課	都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏	
事務事業期間		評価日	平成31年4月5日	
個別計画 根拠法令・条例等	ふじみ野市河川敷地等管理制度実施要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	市が管理する旧河川及び水路の敷地において、ボランティアで清掃美化活動及び維持管理活動を行う市民団体等を河川敷地等管理団体として認定し、市民と行政が協力して、野生動植物の生態系に配慮した河川敷地等の管理を推進するとともに、水辺愛護意識の向上を図ることを目的とする。		
	事務事業の経緯	市民と行政が協働で維持管理し、水辺愛護意識の向上を図る目的でH18年度に要綱を制定した。この他に、H22年度に新河岸川再生プランにおいて、近隣自治会のほか、各種団体等で「リバーサポーター」を設立し、H24年度から川の国応援団「舟運・ふじみんの郷」として活動している。		
	事務事業の概要	認定団体が行う清掃などの美化活動により回収したごみの処理、活動に必要なごみ袋、手袋等の支給をしている。		
	平成30年度の主な取組	認定団体に対し、ゴミ袋、軍手等を支給し、団体等が収集したゴミ、草などを回収し処分を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	1.40	2.10
		人件費	5,699	11,334	17,002
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.50	0.50
		人件費	0	1,841	1,841
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,699	13,175	18,843	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	6	6	6	
	委託料	297	297	330	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	0	0	0	
支出合計		6,002	13,478	19,178	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,002	13,478	19,178	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		53	118	167	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	河川愛護団体（舟運・ふじみんの郷）加盟団体数		
	説明	市が管理する旧河川及び水路の敷地において、ボランティアで清掃美化活動を実施する団体。		
活動	単位	団体		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	15	15	18
	実績値	17	17	
指標 2	指標名	清掃美化活動の回数		
	説明	新河岸川等の清掃の回数		
活動	単位	回		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	2	3
	実績値	0	3	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>身近な水辺空間（水路等）の自然保護や美化活動（清掃、草刈等）により、水辺愛護の意識の向上を図る。</p> <p>市では、認定団体に対して、ゴミ袋・軍手等を支給し、団体が収集したゴミ等を回収している。河川敷地管理団体等による新河岸川に沿った緑地公園・河川敷内の美化活動を地域住民のほか、市内の企業、ボランティア団体等（約140名）に参加していただき年2回実施している。</p> <p>【新河岸川美化活動】</p> <p>第1回 日 時 平成30年11月19日（土） 10:00～12:00 参加人数 約150名 ゴミ量 約60Kg</p> <p>第2回 日 時 平成31年3月30日（土） 10:00～12:00 参加人数 約130名 ゴミ量 約200Kg</p> <p>【川越県土整備事務所が主催した新河岸川放水路清掃活動】 日 時 平成30年6月24日（日） 8:30～10:30</p> <p>【塵芥収集】 草刈回数 18回（舟運・ふじみんの郷が実施した回数） 収集量 10,400kg</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	身近な水辺空間（水路等）の自然保護、美化活動を行っていただくことは、維持管理の観点から有効な手段であるため
中長期的方向性	
継続	